

【建替えとした場合の市庁舎の規模について】

■ 規模を算定するための前提条件

- ▶ 庁内の職員数
 - ・平成 23～27 年（各年 4 月 1 日現在）の平均値：314 人
 - ・非常勤職員を含む。
- ▶ 議員数
 - ・蕨市議会議員の定数条例に基づき 18 人とする。
- ▶ 算定方法
 - (1) 国土交通省：新営一般庁舎面積算出基準
 - (2) 総務省：平成 22 年度地方債同意等基準運用要綱
 - (3) 県内他市庁舎の整備計画事例

■ 規模算定の結果

算定方法	延床面積	職員数	職員一人あたりの床面積
国土交通省 新営一般庁舎面積算出基準	8,456 m ²	314 人	26.9 m ² /人
総務省 平成 22 年度地方債同意等基準運用要綱	8,327 m ²	314 人	26.5 m ² /人
県内他市庁舎の整備計画事例	—	—	平均 23.7 m ² /人 最大 27.6 m ² /人 最小 20.8 m ² /人

■ 市庁舎の規模の想定

国の基準や他市の計画状況を考慮しながらも、本市の厳しい財政状況を鑑み、施設計画上の創意工夫により、できる限りコンパクト化を図ることを前提として想定した市庁舎の規模

⇒ 新庁舎の想定規模

= 6,500 m²程度（職員一人あたり面積：20.7 m²/人）

	延床面積	職員数	職員一人あたりの床面積
建替えとした場合の市庁舎の想定規模	6,500 m ²	314 人	20.7 m ² /人
現市庁舎の規模	4,695 m ²	314 人	15.0 m ² /人

■ 県内他市の整備計画事例

自治体	延床面積	職員数	職員 1 人あたりの床面積 ^{※1}	建替え時期（予定含む）
川口市	40,000 m ²	1,679 人	23.8 m ² /人	平成 31 年度完成予定 (1 期棟)
春日部市	18,000 m ² ^{※2}	735 人	24.5 m ² /人	平成 34 年度完成予定
深谷市	14,000 m ²	627 人	22.3 m ² /人	平成 32 年度完成予定
草加市	17,000 m ²	818 人	20.8 m ² /人	平成 33 年度完成予定
越谷市	23,156 m ²	1,014 人	22.8 m ² /人	平成 32 年度完成予定
新座市	17,082 m ²	772 人	22.1 m ² /人	平成 29 年 10 月完成予定
桶川市	8,360 m ²	366 人	22.8 m ² /人	平成 30 年 2 月完成予定
北本市	8,500 m ²	308 人	27.6 m ² /人	平成 26 年 10 月完成
吉川市	8,200 m ²	305 人	26.9 m ² /人	平成 30 年 3 月完成予定
平均	—	—	23.7 m ² /人	

※1：職員 1 人あたりの床面積は、各市の庁舎整備に係る基本計画に記載された想定延床面積及び庁舎職員数を参考に算出

※2：基本計画では想定延床面積を約 15,000～21,000 m²と試算しているが、本資料では平均値 18,000 m²とした